

第4学年 総合的な学習の時間 学習構想案

菊池市立隈府小学校 教諭 橋本 歌織

1 単元構想

単元名	みんなが住みやすいまち「菊池」		
単元の目標	菊池市のユニバーサルデザインについて調べる活動を通して、 (1)ユニバーサルデザインの意味を理解し、全ての人が暮らしやすいまち作りが行われていることに気づき、 (2)発見した課題の解決に向けて必要な情報を収集し、多様な情報を関連づけたり分類したりして考えるとともに、 (3)共生社会の実現の視点に立って物事を捉え、進んで身の回りの諸問題の解決に取り組む、自己の生き方に生かす。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①ユニバーサルデザインの意味について理解している。 ②公共施設の特徴に合わせて、様々なユニバーサルデザインが存在していることを理解している。 ③市役所やキクロスで見学したり調べたりして収集した情報について、図や文章でまとめる方法が分かっている。	①ユニバーサルデザインの視点に立ったとき菊池市が住みやすいまちになっているかという観点から課題を作り、解決に向けて自分たちにできることを考えている。 ②共生社会の実現に関する情報を、手段を選択して収集している。 ③収集した情報から、共生社会を実現するために自分たちができることに関連する必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 【ESDの視点から】  	①ユニバーサルデザインについて調べる体験を通して、得た知識や自分と異なる意見を生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ②課題解決の状況をふり振り返り、共生社会の実現のために自分たちができること等、課題の解決に向けてあきらめずに取り組もうとしている。 【ESDの視点から】  
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
ユニバーサルデザインの意味や特徴に気づき、共生社会の実現のために自分たちにできることを考え、進んで身の回りの諸問題の解決に取り組もうとする児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
菊池市のユニバーサルデザインについて調べ、UD新聞にまとめて、自分たちにできることを伝えよう。		ユニバーサルデザインについて多様な角度から捉え、共生社会の実現のために自分たちにできることについて考え、自己の生き方を問うこと。	
指導計画と評価計画（22時間取扱い 本時13／22）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一（出会う）	2	○菊池市のユニバーサルデザインについて知っていることを出し合い、単元のゴールを共有する。 ○ユニバーサルデザインの視点から、菊池市が住みやすいまちになっているかを話し合う。	★【知①】（ワークシート、発言） ○ユニバーサルデザインの意味や7つの原則について理解している。 ★【思①】（ワークシート、発言） ○菊池市のユニバーサルデザインについて課題を作り、解決に向けてできることを考えている。

二 (見つける・調べる)	9	○菊池市にあるユニバーサルデザインの意味や工夫について調べる。 ○ユニバーサルデザインや共生社会の実現に向けて取り組んでいる方の講話を聞く。	★【知②】（ワークシート、発言） ○公共施設の特徴に合わせ、様々なユニバーサルデザインが存在していることを理解している。 ★【思②】（ワークシート、発言、行動観察） ○共生社会の実現に関する情報を、手段を選択して収集している。
三 (広げる・生かす)	10	○一次の活動をふり返り、特に自分が関心を持った公共施設やユニバーサルデザインについて課題を設定する。 ○学んだことをもとに、地域の中でどのように生かしていけるか、自分たちの役割を考え、UD新聞にまとめる。 ○まとめたUD新聞を市役所やキクロスに届け、菊池市のユニバーサルデザインや課題、自分たちにできることを伝える。	★【知③】（ワークシート、行動観察） ○市役所やキクロスで見学したり調べたりして収集した情報を、図や文章でまとめている。 ★【思③】（ワークシート、発言、行動観察） ○収集した情報から必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。 ★【思④】（ワークシート、まとめ） ○伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 ★【態①】（ワークシート、発言、行動観察） ○ユニバーサルデザインについて得た知識や自分と異なる意見を生かしながら、協働して課題解決に取り組んでいる。
四 (ふり返る)	1	○菊池市にはたくさんのユニバーサルデザインがあり住みやすくなっているが、共生社会の実現を目指すためには自分たちの力を合わせていく必要があることに気付き、次の学習計画を立てる。	★【態②】（ワークシート） ○課題解決の状況をふり返り、共生社会の実現のために自分たちにできることを考える等、課題の解決に向けてあきらめずに取り組もうとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)	
小学校学習指導要領第1の目標を受け設定された本校の目標「探求的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする」をもとに、探求課題と探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定し、単元を構成している。	
教材・題材の価値	
本教材は、菊池市のユニバーサルデザインについて調べ、共生社会の実現のために自分たちにできることを考えるとともに、自己の生き方を考えることに適している。	
本単元における系統	
4年 「みんなが過ごし やすい学校」 4年 「みんなが住みやす いまち『菊池』」 4年 「共にくらすまちを つくるために」 4年 「自分の生き方 を考える」 5年 「ふるさとの自然と くらし」	

児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（３９名中）

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
タブレット資料を使って課題解決に必要な情報を集めることができる。	8	24	5	2
課題に対する答えを、自分なりの言葉でまとめることができる。	5	22	10	2
課題についての予想や学習計画を立てたり、振り返ったりして学習課題を解決することができる。	6	12	18	3

■本単元の学習に関する意識の状況（３９名中）

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
総合的な学習の時間は好きですか。	24	13	2	0
タブレットや資料を使って、調べ学習をすることは好きですか。	23	13	3	0
学習したことを、自分の言葉でまとめることができているですか。	11	18	7	3
ユニバーサルデザインとは何か知っていますか。	29	7	2	1
菊池市にあるユニバーサルデザインを知っていますか。	2	8	18	11

■考察

（資質・能力について）

情報の収集については、８割の児童がタブレットや資料等を使い進んで活動している。一方、「あまり」「ない」の児童は、必要な情報を取捨選択したり、言葉にしてまとめたりすることに困難さがあり、手立てが必要である。また、一度調べてまとめ終わると満足してしまい、学びの連続性が十分でない児童が多い。調べたことからさらに知りたいことについて課題を見だし、学習計画を立てていくことの必要性を実感できるようにしたい。

（学びに関して）

夏休み前までに校内のユニバーサルデザインについて調べる学習を行っていたため、ほとんどの児童がユニバーサルデザインについてのイメージを持つことができている。しかし、菊池市のユニバーサルデザインと範囲を広げたときに、どのようなユニバーサルデザインがあるか、具体的に想像することができた児童は少ない。市役所やキクロス見学等を通して、菊池市にはユニバーサルデザインの工夫がたくさんなされていること、さらに住みやすいまちにしてくれたために、自分たちにできることを考え行動していくことが大切であることを考えることができる学習が必要である。

3 指導に当たっての留意点

- 菊池市にあるユニバーサルデザインに気付いていない児童が多いため、写真や映像を見せることでイメージを共有することができるようにする。
- 自己をふり振り返り、今自分たちにできることを考えるために、市役所やキクロス見学でまとめたことと生活の中での課題を結び付ける。
- 他者と協働して取り組む場面では、自分の意見を伝えたり自分とは異なる意見も受け入れたりしながら、学習を進めていくことができるよう指導する。

4 本時の学習（13／22）

（1）目標 新聞の記事を作成する中で、情報を取捨選択しながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。

（2）展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言 ●補助発問)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 前時のふり返しをする。 ◇この前の時間は、市役所とキクロス見学で見つけたことや分かったことをまとめました。 2 本時のめあてと学習課題をつかむ。 【めあて】菊池市UD新聞にのせる記事を考えよう。 【学習課題】 どのような内容にすると、菊池市のユニバーサルデザインが伝わるだろう。	○前時までの学習をふり返る。 ○単元のゴールを確かめ、単元計画からめあてと学習課題を設定する。 ○集めた情報の中で、どの情報を載せると菊池市のユニバーサルデザインが伝わるか問う。
展開	30分	3 課題の解決に向けて活動する。 ①新聞に載せる記事1つ目を作成する。 ◇見学でメモしたことを見ながら、文章を書こう。 ◇市役所にもキクロスにも点字があったから、まず点字についてまとめよう。 ◇キクロスで筆談ボードというのがあったけど、分からないことがあるから調べてみよう。 ②記事を読み、いい点や改善点を伝え合おう。 ◇市役所のトイレの音声はわたしも初めて知ったから、記事にしていいていいと思います。 ◇「誰でも使える車いすがある」と書いてあるけど、どこにあるか説明するとさらに分かりやすいです。 ◇どうしてキクロスのカウンターに意思疎通シートがあるか、理由があるといいです。 ③助言を基に、記事の内容を改良する。 ◇玄関に車いすがあることを書こう。 ◇理由も調べよう。	○全3つの記事の中の1つ目に取りかかるので、特に自分が伝えたい記事からまとめていくよう声をかける。 ○見学やインタビューだけでは分からなかったことについては、タブレットや本、資料を使いながらまとめていくことを伝える。 ○記事のいい点、改善点ともに交流することで、協働して新聞を作っていくことができるようにする。 【具体的評価規準】思③ 新聞の記事を作成する活動を通して、情報を取捨選択しながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 (方法：ワークシート、発言) 【到達していない児童への手立て】 ○見学したときのメモや写真を参考に、関心のあるユニバーサルデザインから調べて、記事にまとめていくよう促す。
終末	10分	4 本時のまとめとふり返しを行う。 【まとめ】くわしい使い方や理由をのせると伝わりやすい。 ◇布でできた本について、もっとくわしく調べていきたいです。 ◇ピクトグラムが市役所にもキクロスにもあって、何をする部屋か分かりやすいと思いました。	○学習のまとめを児童の言葉で整理していく。 ○わいふの視点のとともに何力が付いたかふり返しを行い、共有することで、学級全体で学びの充実感を味わうことができるようにする。

5 ESD との関連

(1) 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・多様性…菊池市には様々なユニバーサルデザインがある。
- ・相互性…行政・公共施設・医療機関は互いに働きかけ合っている。
- ・連携性…みんなで力を合わせて、住みやすいまちを作っていくことが大切である。

(2) 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ・多面的・総合的に考える力 (システムズ・シンキング)
自分とは異なる立場の見方も受け入れ、情報を取捨選択し、統合的に考えていく。
- ・つながりを尊重する態度
地域と自分との関わりを理解し、仲間と協力し合って行動に移すことができる。
- ・進んで参加する態度
自分たちのくらしの中にある課題に気づき、行動することができる。

(3) 本学習を通して育てたい ESD の価値観

- ・幸福感に敏感になる
みんなが住み続けられるような工夫が地域ではなされており、私たちは日々たくさんの方々に支えられている。

(4) 達成が期待される SDG s

